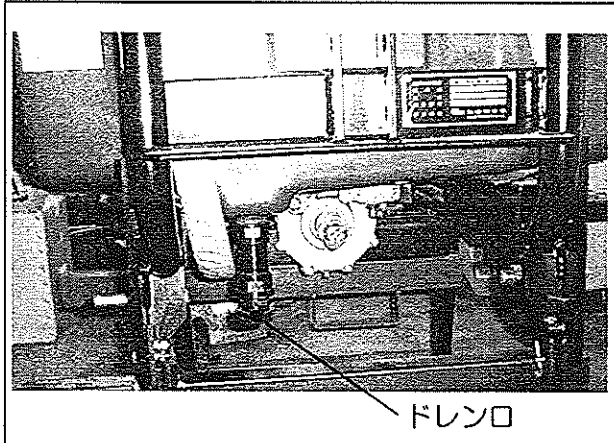


16 作業後のお手入れ

1. 薬剤タンク内の水は、タンク下のドレン口を開いて抜きます。



警告

残液が残らないように散布計画を立ててください。もし残液が残った場合は、洗浄水も含めて自分の圃場で薬害のないように十分薄めてから処理してください。

2. 薬剤タンクに清水(50 L 位)を入れ、防除作業と同じようにブームを全開にして、圧力を上げて噴霧し、薬剤タンク、噴霧用ポンプ、配管及びノズル等の清掃を行います。

注意

1分間以上の空運転をしないで下さい。ポンプが破損します。

3. 薬剤タンク、噴霧用ポンプ、配管、ノズル内の水は、完全に排出します。

注意

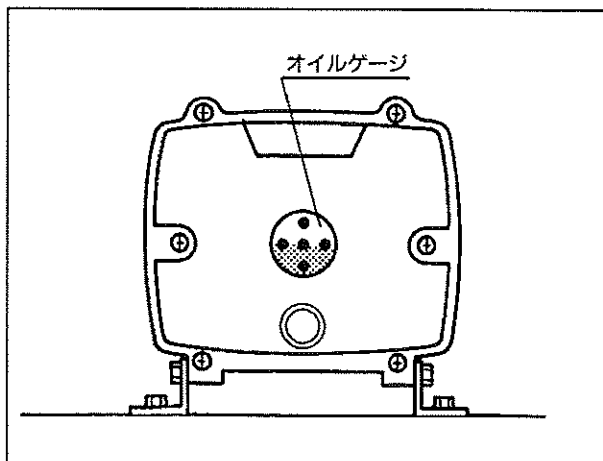
各配管の接続部の一端を外して水抜きをします。

4. 薬剤タンクの水コシ網、吸水ストレーナ内ストレーナ、分水器ストレーナの清掃を行います。
5. ブームスプレーヤ外部を清掃します。

17 点検及び給油

1. 噴霧用ポンプ

クランクケースに、オイルゲージの赤点までオイルが入っているか、又、汚れていないか確かめます。不足している時は補給し、汚れている場合は交換します。



使用オイル INZO オイル SAE10W-30 SC級以上 容量0.6L

標準オイル交換時間：初 回・50 時間目

：2 回目以降・100 時間毎

2. ブーム各リンク部,ユニバーサルジョイント等

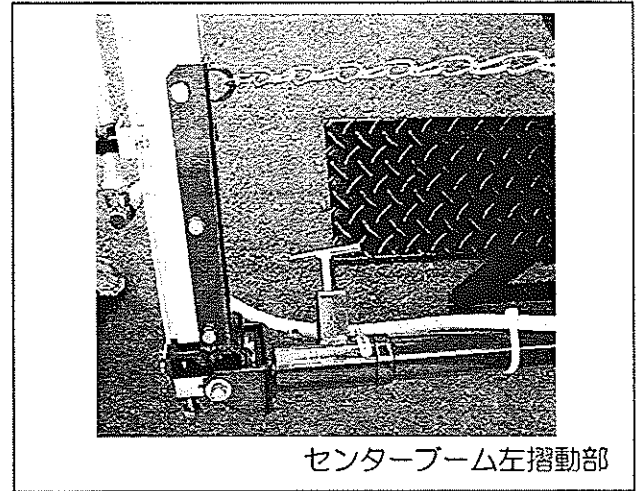
(1) グリスアップ

グリスニップル個所のユニバーサルジョイント(両側 2ヶ所)、センターブーム(左右 2ヶ所) や薬剤タンク攪拌機用等へ、グリスアップします。

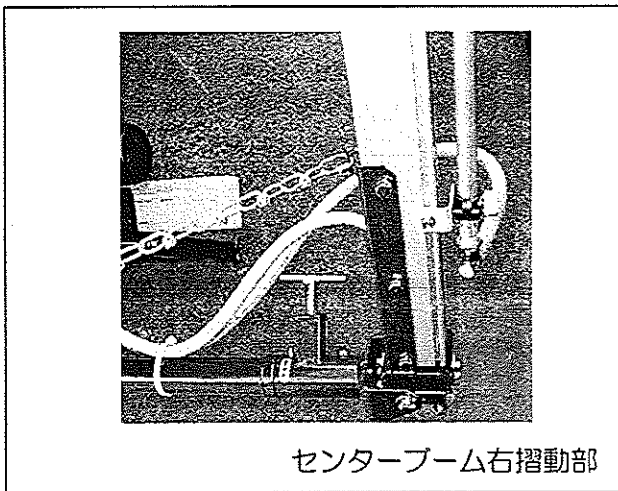
グリス 20 時間毎 適量

注意

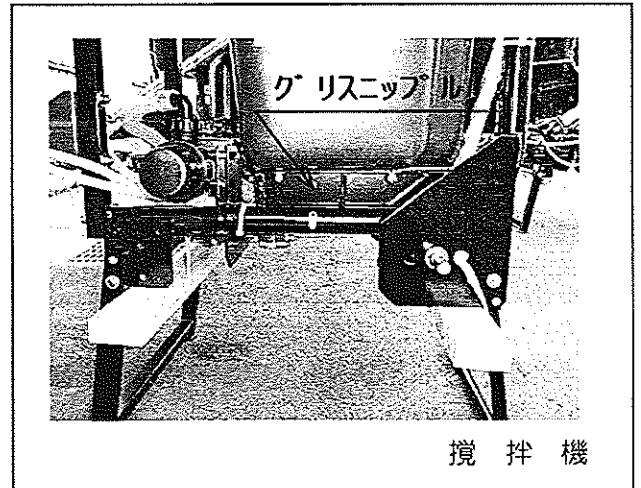
ユニバーサルジョイント(両側2ヶ所)にもグリスアップします。



センターブーム左摺動部



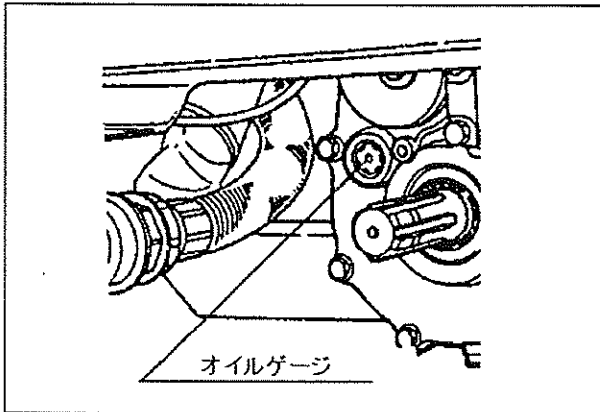
センターブーム右摺動部



攪拌機

(2)ギヤケース外部へ油が漏れていないか確認します。

オイル交換は初回 50 時間、2 回目以降は 600 時間毎に行ってください。



使用オイル ギヤ油 SAE90 容量 0.4L

注意

- 上記の油類の種類、交換時期は厳守して下さい。機械の寿命が短くなることがあります。
- 油量はゲージでチェックし、補充する場合は、上のレベル又はゲージの赤点に合わせるようにして下さい。油量は多過ぎても少な過ぎても機械に悪影響があります。

18 トラクタからの取外し

- ①トラクタとブームスプレーヤを平らな場所へ置きます。
- ②トラクタのPTOをOFFにし、駐車ブレーキを掛けます。
- ③ブームスプレーヤスタンドを前、後の順に降ろします。

警告

スタンドを降ろす時は、スタンドに手を添えてからピンを抜き、ゆっくり降ろすようにして下さい。

- ④振れ止めをゆるめます。(スタビライザ)
- ⑤トラクタ油圧ロックを解除します。
- ⑥ロワーリンクを下げ、トップリンクを外します。

注意

トップリンクは両手でしっかりと持ち、確実に外して下さい。手等を挟んで怪我をします。

注意

ロワーリンク操作はゆっくり行います。

- ⑦トラクタのエンジンを停止します。
- ⑧トラクタ側ユニバーサルジョイントを外します。
- ⑨ロワーリンクを、右、左の順に外します。
- ⑩ブームスプレーヤが安定した状態が確認します。

警告

ブームスプレーヤの取付け、取外しを行う場合、薬剤タンクを空にして行って下さい。